

学会彙報、奥付

雑誌名	漢文學會々報
巻	22
ページ	38-44
発行年	1963-05-25
URL	http://hdl.handle.net/2241/00148550

學會彙報

○昭和三十七年度漢文學會總會

〔漢文教育研究會〕 六月二十三日(土) 於赤城臺高校

一、研究授業

二年、漢文 實施者 月洞 讓氏

一、研究會 司會 志賀委員

(イ) 開會の辭 志賀委員

(ロ) 當番校挨拶 赤城臺高校 吉田校長

〃 〃 〃 〃 多和田國語科主任

(ハ) 質疑討論 月洞教諭

授業擔當者挨拶 於東京教育大學

〔研究發表會〕 六月二十四日(日) 於東京教育大學

一、六朝の詠懷詩について 司會 鈴木、今井委員

一、司馬遷の「天道」に對する懷疑と不信について 大學院 沼口 勝氏

一、詩に反映せる日清戰爭 大學院 中村 嘉弘氏

一、明治初期 松本邊における漢字の様態 大學院 許 常 安氏

一、近代と漢學について 信州大學 千原勝美氏

一、歐陽修の態度 信州大學 千原勝美氏

一、宋代經書解釋史からみて 信州大學 千原勝美氏

一、歐陽修の態度 信州大學 千原勝美氏

一、宋代經書解釋史からみて 信州大學 千原勝美氏

一、歐陽修の態度 信州大學 千原勝美氏

の自覺は、まだまだ中途半端なものであつた。彼は所詮舊時代のインテリでしかなく、「人間」について考察するタイプの作家ではあり得なかつた。従つて、その世界觀が極めて限られたものだつたことも亦自然だつたといえる。例えば、彼は、康有爲らの運命には同情しても、同年の孫文及びその一派には毛ほどの同情も示していないのである。だが問題はまだ残される。思うに、我々が「晚清」の意味に魅了された時はじめて、小説に新しい方向づけを與えるに最も右翼だつた作家・吳趸人の存在意義は價値を滞びてくるに相違ない。

○鐘磔「詩品」研究

富安 泰正

○王 弼

丸橋 紀久枝

- 函館大學 加賀榮治氏
- 香川大學 藤川正敷氏
- 福井大學 寺岡龍含氏

【總會】

- 一、開會の辭 司會者 牛島委員
- 一、報告並に議事

(1) 議長選出(寺岡龍含氏)

(2) 各部報告

- (1) 庶務報告 安居委員
- (2) 研究部(一)報告 鈴木委員
- (3) 研究部(二)報告 今井委員
- (3) 議事

(1) 昭和三十六年度收支決算 牛島委員

(2) 昭和三十七年度豫算 牛島委員

(4) 會則變更

會則、(3)(2)「東京教育大學漢文學」の下に「大學院中國古典學」の八字を加える事を承認

(5) 委員改選

左の四氏を委員として選出する

- 内野熊一郎 鎌田 正 鈴木修次 志賀一朗
- (6) その他

一、閉會の辭

牛島委員 司會 緒形委員

○講演會

昭和三十七年四月二十三日(月)

於東京教育大學

「中國研究の意義」

○昭和三十七年度月例會

一、一月例會

史記における我が國の優位性

— 佚注の殘存を中心として —

- 明鄭時代の愛國詩人 大學院修士課程 青木五郎氏
- 文藝講話と丁玲批判 大學院修士課程 許常安氏
- 董仲舒の對策せる年代についての一考 大學院修士課程 小倉勇三氏
- 詩語としての「桃花源」(又は桃源)について 大學院修士課程 金子彰男氏

一、二月例會

- 一般教育科目 大學院修士課程 沼口 勝氏
- 内野教授 漢文學講讀 (思想)
- 小林教授 (文學)

○昭和三十八年度漢文學關係講義一覽

- (一) 外國語 牛島助教授 中國語 一、(文法)
- 〃 長谷川講師 〃 二、(講讀)
- 〃 陳 講師 〃 一、(作文)
- 〃 志村講師 〃 二、(會話)
- 〃 〃 〃 一、(文法)
- 〃 〃 〃 二、(講讀)

(三)

專門科目

- 藤堂 講師 〃 一、 (讀本)
- 〃 〃 二、 (講讀)
- 賴 講師 〃 一、 (讀本)
- 〃 〃 二、 (講讀)
- 竹内 講師 〃 三、 (講讀)

内野 教授

中國哲學概論並特講

〃

中國思想史演習 (易經)

小林 教授

中國思想史演習 (老莊)

〃

(論語集註)

鎌田 教授

中國思想史

〃

中國文學演習 (唐詩選)

河野 教授

日本漢文學演習 (凌雲集)

〃

中國言語學概論

牛島助 教授

中國言語學講讀 (史記の文法)

〃

中國言語學演習 (老舍、惶惑)

鈴木助 教授

中國文學概論

〃

中國文學演習 (杜甫)

〃

(魯迅研究)

陳 講師

中國語學演習 (兒女英雄傳)

前野 講師

中國文學講讀 (宋代)

米山 講師

書誌學 (漢籍)

月洞 講師

毛詩鄭箋講讀

(四) 大學院科目

内野 教授

金文辭大系、淮南子講讀

小林 教授 王注老子講義

鎌田 教授 公羊傳注疏演習講讀

牛島助 教授 中國言語學講義 (史記の文法)

鈴木助 教授 唐詩の綜合的研究

次號 原稿 募集

左記により次號第二十三號の原稿を募集いたします。
振つて御應募下さい。

一、締切 昭和三十九年一月末日

一、枚數 四百字詰原稿用紙二十枚内外

一、採否 委員會に御一任下さい。

編 集 部

○東京教育大學漢文學會々々

後記

一、本會は東京教育大學漢文學會と稱し、事務所を東京教育大學漢文學研究室に置く。

二、本會は漢文學及び漢文教育の研究と普及とを圖るのが目的である。

三、本會の會員は左の通りである。

1 東京教育大學漢文學及び東京文理科大學、東京高等師範學校の漢文學關係教官（退官者を含む）

2 東京教育大學漢文學大學院中國古典學專攻學生及び卒業生、並に東京文理科大學漢文學專攻卒業生

3 その他入會を希望する者

四、本會の主な事業は左の通りである。

1 總會 年一回

2 例會 年約七回

3 會報及び會員名簿の發行

4 その他必要な事項

五、本會の役員は左の通りである。

委員長 一名

委員 若干名

六、委員長は本會を代表し委員とともに運営に當る。
委員は委員會を組織し會の研究會計庶務を分擔する。
七、委員長は委員の互選による。
委員は東京教育大學學生中から五名、その他から若干名（一般會員より四名、及び東京教育大學助手）を會員の互選（學生委員は學生の互選）によつて選舉する。その任期は二年（學生委員は一年）とする。但し重任は差し支えない。
八、會員は會費年額四百圓、（但し學生は半額）を納める。
九、本會會則の變更は委員會の審議を経て總會出席者の過半数の承認を得なければならぬ。

○昨年に引き續き、本年も會報を發行することができたのは、會員諸氏の各方面よりする御協力の賜物である。今後益々學會發展のため御協力をお願いいたします。

○本年も幸にして、東京都内の共立社で印刷することができ、萬事好都合でありました。殊に正字が自由に使えてうれい。發行期日も厳守してくれました。ここに共立社に對し深甚の謝意を表します。

（鈴木・今井）

漢文學會々報第廿二號

昭和三十八年五月二十日 印刷
昭和三十八年五月廿五日 發行

（非賣品）

編輯者 東京教育大學漢文學會 代表者 内野 熊一郎

印刷所 東京都千代田區神田神保町三ノ一〇 株式會社 共立社 印刷所

東京都文京區大塚窪町二四

發行所 東京教育大學漢文學會

振替東京四七六〇〇番

支那文を
讀む爲の
漢字典

田中慶太郎編譯
文求堂版重印
新書版六六〇頁
金六百八十円

東京都千代田區神田神保町二丁目七番地

有限
會社
山本書店

電話九段 〇八四七番
振替東京五九九五〇番

中国原書・中国關係洋書の
御用命は

極
東
書
店

本社 東京都千代田區神田神保町二の二

(振替)東京一〇〇〇九(電) 六四三一
七六一七

大阪市北区永楽町三二 (312) 〇二二四

京都市上京區河原町通り荒神口下ル
(振替)京都五八二九(電) 二〇九三

營業所

中国図書・中国關係書

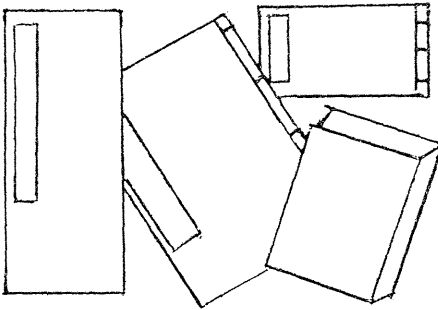
専門取扱

株式會社
大
安

●月報
1年 450円

東京都千代田區神田神保町二の二
電話 (三三二) 一六一一 二
大阪市北区老松町三の二 日新ビル
京都市中京區河原町通竹屋町下ル西側

和漢古書籍賣買



松雲堂書店

東京都千代田區神田神保町3~1
電話・東京 九段 〇6498

大修館の學習辭典

新漢和辭典

諸橋 徹次 / 渡邊 末吾 共著
鎌田 正 / 米山 寅太郎

ポケット判・1120頁 780圓

(特價 700圓)

新國語辭典

石井 庄司 / 小西 甚一 共編

ポケット判・1112頁 550圓

(特價 450圓)

東京神田錦町3の26 大修館書店

☆好評發賣中☆

小学館の辞典

漢文學習のための初のポケット版

新選漢和辞典

小林 信明 編

B 6 小販・1120ページ・定価480円

新選古語辞典

中田 祝夫 編

B 6 判・1344ページ・定価580円

新選国語辞典〔改訂版〕

金田一・佐伯・大石 編

B 6 小判・1120ページ・定価450円

新版 言 林

新村 出 編

B 6 判・2400ページ・定価1400円

尚学図書の教科書

論語集注

上・下二冊 函入
定価 二一四〇円

影瑣川呉氏仿宋刊本(返点付)

日本に於て論語を教科書に用いる場合、唐本の風格を存し、尚且返点のあるものを最適と考ふる。論語集注の善本として知られてゐる呉志忠校刊本に返点を付し之を影印したものを出版する所以はここにあるのである。これによつて、唐本にも親しめしかも読み易いという利点の外に、鉛印のもの較べれば遙かに文字が大きく、その鮮明さは比較にならないので、現在使用できる教科書としては、右に出るものはないと信ずる。是非御採用を願ひたい。

なお、返点は指導者の便をはかり、集注を解釈した四書輯疏によつた。

道教の基礎的研究

福井 康順 著
A 5 判 洋一冊 一〇〇〇円

東洋思想史研究

福井 康順 著
A 5 判 洋一冊 一〇〇〇円

今西博士朝鮮関係文獻目錄

原三七編 美濃版袋
油印 洋一冊 一〇〇〇円

荀子思想論考

藤井 専一 著
A 5 版 洋一冊 一〇〇〇円

中国脚色研究史上の一断面

原 三 七 著
B 5 版 洋一冊 一〇〇〇円

姚梅伯と王静安

東京都文京区湯島一ノ湯島聖堂構内

發行所

株式会社 書籍文物流通会

電話(二)四六〇六(三)一七〇六・一七〇七
振替 東京 二一九九六番

文部省検定済教科書

監修 東京教育大學教授 文博 内野熊一郎他
典 018 高等 漢文 (古典乙一)

特色

- 一、「經史子集」の分類に準じた單元構成
- 一、能力段階に應じ易より難へと配列
- 一、各學年で詩文類・史傳類・經子など學習可能
- 一、基本句型・重要助辭等を整理
- 一、便宜・効果的な付録

大原出版株式會社

東京都澁谷區宇田川町三〇
電 (46) 美三〇・七三九・八九六

91円

文部省科學研究獎勵金 受領
東京都教育助成金

標準學力檢査研究會による

高校標準學力テスト

- 一、學年別、年四回(四、六、九、十二)發行
- 二、國數英の三科目を新傾向問題で出題
- 三、各回毎に、全國集計、全國順位發表

東京都新宿區市谷砂土原町二一七

標準學力檢査研究會

(振替東京六〇〇七番、電三〇二、六二〇)

事務所 敬文社 (振替一四八九八番、電三〇一、二〇四六)

標準 高等漢文

(古典乙一)

著者・小林信明

教科書

講談社版

高等學校・國語科

言語・文字・文學などと、特に、わが國に深い關係にある古典としての漢文に親しみ、これを讀解し、これを鑑賞する能力を身につけ、ひいては思考力や判斷力を延ばし、また、心情を豊かにし、さらに新しい文化の創造に資するやうにというのが、この編集の要趣であり、その構成の上には、導入・單元・表記に著しい特色を出した。

○教番 古典 045
○定價 91圓

わが國の豊かに恵まれた古典を享受し、新しい文化發展の力を培おうとする。高等學校の古典學習の理想が實現できるやうに、あらゆる考慮の末、形式・内容に大きな特色をもたせた。

標準 高等古文 (古典乙一)

著者・川瀨一馬・馬淵和夫

○教番 古典 044
○定價 114圓

發行所 東京・文京・音羽 講談社